

2. 「相互運用標準モデルVer.5.00」 の作成方針について

2.1 「相互運用標準モデルVer.5.00」への改訂・追記項目および進め方について（案）

- ・以下の内容について「相互運用標準モデルVer.5.00」への改訂、追記の検討を行う。
- ・「適合性評価の仕組みの検討・準備」については仕組みの「基本的な考え方」の公表を目指す。（「基本的な考え方」や適合性評価の手続き等の詳細を「Ver.5.00」に盛り込むか別途対応するかについても併せて検討する。）

章番号	内容	第1回で 討議	第2回で 討議	標準モデル Ver.5.00等 に反映
第2章 技術仕様	<ul style="list-style-type: none"> ■ LTI, xAPIそれぞれに関して一部の細部の明確化 ■ MEXCBTのアップデートに伴う対応（確認中） ■ 学習ツールに送出する利用者属性情報の追加（検討中） 			○ ○ ○
第3章 運用に関する指針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 接続に対する考え方 ■ 学習eポータルへの切り替えに関する考え方 ■ 費用負担に関する考え方 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ (事例) ○
適合性評価の仕組みの検討・準備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相互運用標準モデルの適合性評価に関する方針について <ul style="list-style-type: none"> ・ 適合性評価の基本的な考え方 ・ 適合性評価の段階と、来年度を見込んだファーストステップ ■ 具体的な適合性評価の方法について（自己宣言の仕組み） 	○ ○		○

相互運用標準モデルVer.5.00の章立て	記載方針	学習eポータルVer.4.00
第1章 本モデルについて		
1. 目的	<ul style="list-style-type: none"> 目的、ドキュメントの構成 	1. はじめに
2. 概要		
3. 要求水準		
4. 用語		2. 用語
5. 相互運用標準モデルとは	<ul style="list-style-type: none"> コンセプト 本モデルの位置づけ 相互運用標準モデルによるデジタル学習環境 相互運用標準モデルによるデジタル学習環境における基本的考え方 相互運用標準モデルの利用者 相互運用標準モデルによるデジタル学習環境のユースケース 	1.2 本モデルの位置づけ 3. 学習eポータルとは 3.1 コンセプト 3.2 学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境 3.3 学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境における基本的考え方 3.4 学習eポータルの利用者 3.5 学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境のユースケース
第2章 技術仕様		4. 製品に関する要件・仕様
1. 学習eポータル 1.1. 学習eポータルの機能要件 1.2. 学習ツールとの連携技術仕様 1.3. 校務支援システムとの連携技術仕様	<ul style="list-style-type: none"> アップデート 	4-1. 学習eポータルの機能要件
2. 学習ツール 2.1. 学習eポータルとの連携技術仕様 2.2. LRSとの連携技術仕様	<ul style="list-style-type: none"> アップデート 	4-2. 学習ツールとの連携技術仕様
3. 校務支援システム 3.1. 学習eポータルとの連携技術仕様	<ul style="list-style-type: none"> アップデート 	4-3. 校務支援システムとの連携技術仕様
4. Learning Record Store 4.1. LRSの技術仕様	<ul style="list-style-type: none"> アップデート 	4-4. LRSの技術仕様
5. 将来像と課題	<ul style="list-style-type: none"> アップデート 	6. 将来像と課題
第3章 運用に関する指針		
1. 基本的考え	<ul style="list-style-type: none"> 運用指針を新規に記載する。 	5. 運用に関する指針
2. 学習eポータル・学習ツールの選択自由度の確保	<ul style="list-style-type: none"> 運用指針を新規に記載する。 	5.1 基本的考え
3. 教育データの適切な取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 運用指針を新規に記載する。 	5.2 学習eポータル・学習ツールの選択自由度の確保
4. いつでも・どこでも安心・安全に学べる環境	<ul style="list-style-type: none"> 運用指針を新規に記載する。 	5.3 教育データの適切な取り扱い
5. 将来像と課題		5.4 いつでも・どこでも安心・安全に学べる環境